

わかりはじめたmyrevolution明日を見出すことさ

世界基督教統一神霊協会（せかいきりすときょうとういつしんれいきょうかい）は、韓国発祥のキリスト教系新宗教団体。一般に、統一教会（とういつきょうかい）または統一協会（とういつきょうかい）との名前で知られる。ただし一般のキリスト教会はキリスト教の一教派とは認めていない。

「統一教会（統一協会）」の教祖、文鮮明はイエス・キリストから神の御旨を果たす使命を託されたという。すべての宗教の中心であるキリスト教徒が自分を再臨のキリスト（メシア）として受け入れれば、7年間で地上天国が完成したが、それが果たせなかったため、その代わりに設立したのが「統一教会（統一協会）」だとする。

そのために、教団の正式名称である「世界基督教統一神霊協会」はキリスト教の統一を目指すという意味が込められている。しかし、韓国では教団設立から43年目にして、「世界平和統一家庭連合」という宗教色のない名称に変更した。（日本の統一教会（統一協会）も名称変更を望んでいるが文化庁は未だ変更を認めていない。）しかし、教団自体は国内のほとんどのキリスト教会からは依然として異端とみなされており、名称変更に関しては、「正体を隠して活動するためだ」といった批判もある。教団の目的は神の理想とする地上天国を実現することである。そのために、全宗教・思想の統一を初め、政治、経済、文化、言語等、様々な分野に向けて活動を展開している。言語に関しては、メシアであり、全人類の父母である文鮮明が話す韓国語が未来において世界共通語になるべきだとされており、信者は韓国語をマスターすることが奨励されている。

教団は宗教活動以外に、多国籍企業を上回るほどの、実に幅広い事業を手がけ、多くの関連企業や関連団体を持つ。それらの資金は「日本には“母の国”として、韓国を初め世界に経済的貢献をすべき責任がある」という教えに従う日本の信者の献金や経済活動に負うところが大きい。しかし、これらの企業や団体は教団との関連を注意深く隠したり、否認することが多いので、社会的評判の悪さを隠して活動するための、ダミー団体、偽装組織だという批判がある。

教団は草創期から社会との摩擦が絶えず、韓国では、「洗脳している」、「家庭を破壊する」、「“血分け”をしている」と言われたりして世間を騒がせた。

日本においても、信者が学業や職業を捨てて、教会活動に献身するため、「親泣かせ原理運動」などと呼ばれ、家庭を破壊する団体という社会的批判を浴び、反対運動をする父母の会までできた。また、一部の親族が教団から子供を取り戻すために、キリスト教の牧師や精神科医師などの相談をあおぎ、ホテルや病院などの施設に長期間監禁して子供を説得すること（「デプログラミング（脱洗脳）」）が頻発した。これを教団側は、特定の牧師や医師が積極的に関与し、監禁の方法などを指導していることから「信者に対する拉致監禁・強制改宗」であり、「信教の自由」を犯す人権問題だと非難し、訴訟も起している。

（ウィキペディア）